

水質検査項目のうち、今年度検査する項目と、過去の検査結果

番号	定期検査項目	基準値 (mg/l)	平成19年度	過去3年間 の最大値	基準値との比較		棒グラフ	シートA としての 検査頻度	今年度の 検査回数	解 説
					1/5以下	1/10以下				
					1回/年	1回/3年				
基1	一般細菌	100個/ml	0					1回/月	12	病原菌に汚染されていることを疑わせるもの。
基2	大腸菌	不検出	不検出					1回/月	12	病原菌に汚染されていることを疑わせるもの。
基9	シアン化合物イオン及び塩化シアン	0.01以下	<0.001	0.001				1回/3ヶ月	4	例として青酸カリ等、人体に有毒な物質。
基10	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10以下	0.24	0.24		○		1回/3年	4	糞便性汚染の指標となる。
基11	フッ素及びその化合物	0.8以下	-	0		○		1回/年	1	斑状菌の形成比率が増大するが、虫歯の発生が低下する。
基12	ホウ素及びその化合物	1以下	<0.05					1回/3ヶ月	4	中毒症状が重くなると、血圧低下、呼吸停止などが現れる。
基14	1, 4-ジオキサン	2以下	<0.005					1回/3ヶ月	4	吐き気、消化不良、昏睡状態等の症状を起こす。
基21	塩素酸	0.6以下	新規検査項目					1回/3ヶ月	4	赤血球細胞への酸化ダメージが考えられる。
基22	クロロ酢酸	0.01以下	<0.002					1回/3ヶ月	4	水中の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成される。
基23	クロロホルム	0.06以下	0.004	0.008				1回/3ヶ月	4	総トリハロメタンの構成物質。
基24	ジクロロ酢酸	0.04以下	<0.004					1回/3ヶ月	4	水中の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成される。
基25	ジブロモクロロメタン	0.1以下	0.003	0.004				1回/3ヶ月	4	総トリハロメタンの構成物質。
基26	臭素酸	0.01以下	<0.001					1回/3ヶ月	4	水中の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成される。
基27	総トリハロメタン	0.1以下	0.011	0.020				1回/3ヶ月	4	水中の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成される。
基28	トリクロロ酢酸	0.2以下	<0.001					1回/3ヶ月	4	除草剤、防腐剤等に使用される。発ガン性高い。
基29	ブロモジクロロメタン	0.03以下	0.004	0.008				1回/3ヶ月	4	総トリハロメタンの構成物質。
基30	ブロモホルム	0.09以下	<0.001	0.001				1回/3ヶ月	4	総トリハロメタンの構成物質。
基31	ホルムアルデヒド	0.08以下	<0.005					1回/3ヶ月	4	水中の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成される。
基32	亜鉛及びその化合物	1.0以下	<0.01	0.015		○		1回/3年	1	水中に高濃度に含まれると金属味がしたり、白濁する。
基33	アルミニウム及びその化合物	0.2以下	<0.001					1回/3ヶ月	4	急速ろ過に使われる。水道水に多量に含まれると白色になる。
基34	鉄及びその化合物	0.3以下	<0.03	<0.03		○		1回/3年	1	水中に高濃度に含まれると不快な臭味がし、赤褐色になる。
基35	銅及びその化合物	2.0以下	<0.01			○		1回/3年	1	高濃度に含まれる水を長期に飲用すると、皮膚等が緑色になる。
基36	ナトリウム及びその化合物	200以下	9.5	14.0		○		1回/3年	1	塩素処理などからの発生が考えられる。
基37	マンガン及びその化合物	0.05以下	<0.05			○		1回/3年	1	水道水に含まれると、黒色になる。
基38	塩化物イオン	200以下	14.7	10.9				1回/月	12	塩味を感じる。
基39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300以下	14.2	10.83		○		1回/3年	1	水中に多量に含まれると、硬い味がし、石鹸の泡立ちが悪くなる。
基40	蒸発残留物	500以下	-	6.25		○		1回/年	1	水中に含まれるものが蒸発乾固してできたものの総量。
基41	陰イオン界面活性剤	0.2以下	0.02			○		1回/3年	1	青色の錯化合物を形成するもの。
基42	ジェオスミン	0.00001以下	<0.00001					※		カビ臭の原因となるもの。
基43	2-メチルイソボルネオール	0.00001以下	<0.00001					※		カビ臭の原因となるもの。
基44	非イオン界面活性剤	0.02以下	<0.005					1回/3ヶ月	4	合成洗剤の主成分。水道水にある程度含まれると、泡が発生する。
基45	フェノール類	0.005以下	<0.0005			○		1回/3年	1	防腐剤、消毒剤等の原料。不快な臭味を与える。
基46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	5以下						1回/月	12	有機物の量を正確に把握するため、有機物等から変更。
	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	10以下	<0.5	0						水道水源に尿、下水または工場排水が混入した場合に増加する。
基47	pH値	5.8~8.6	7	7.7				1回/月	12	水の酸性、アルカリ性を測る指標。中性は7。
基48	味	異常でない	異常でない					1回/月	12	不快味、金気味、渋味等を測る。
基49	臭気	異常でない	異常でない					1回/月	12	カビ臭、カルキ臭などがある。
基50	色度	5度以下	0	0.65				1回/月	12	赤水、黒水、青水等がある。
基51	濁度	2度以下	<0.1	0				1回/月	12	水の汚濁や富栄養化の程度を知ることができる。
毎1	色	異常でない	異常でない	異常でない				1回/日	毎日	目視により検査
毎2	濁り	異常でない	異常でない	異常でない				1回/日	毎日	目視により検査
毎3	消毒の残留効果	異常でない	異常でない	異常でない				1回/日	毎日	匂い、味などにより検査

水質基準値

水質基準値以下であれば、水道水は安全です。

棒グラフの短い方がより安全です。

・※は原因藻類発生時期に月に1回以上

・は省略不可項目

・過去の検査結果が空欄のものは、今年度からの実施項目

・毎1~3は、毎日検査する項目